

第1回 効率的なアクセス業務の実務検討に関する作業会 議事要旨

○日時：平成30年4月25日（水） 13:30～14:30

○場所：電力広域的運営推進機関 豊洲事務所 会議室C

○出席者：

瀧澤 一広（東京電力パワーグリッド株式会社 パワーグリッドサービス部 ネットワークサービスセンター
システム総括グループ グループマネージャー）

有吉 信行（中部電力株式会社 電力ネットワークカンパニー ネットワーク営業部 ネットワークサービスセンター
システム連系課 課長）

永原 淳一（関西電力株式会社 電力流通事業本部 副部長）

森永 茂彦（九州電力株式会社 送配電カンパニー 配電本部 ネットワークサービスセンター
システムアクセスグループ グループ長）

○議題

1. 効率的なアクセス業務の実務検討に関する作業会の設置について
2. 検討項目・スケジュールについて

○配布資料

- 資料1 効率的なアクセス業務の実務検討に関する作業会の設置について
- 資料1-1 効率的なアクセス業務の実務検討に関する作業会 名簿
- 資料2 検討項目・スケジュールの確認
- 資料2-1 電源接続案件募集プロセスの課題について

議事概要：

- ・資料2の5ページのスケジュール案をマイルストーンとして検討を進めていくこととした。

【主な意見】

- ・今後、本作業会の中で検討を進めていくうえで、系統利用者全体の目線も踏まえて検討を進めて頂きたいことを事務局からお願いした。
- ・資料1の5ページのアクセス検討プロセス適用前の事業者への周知について、説明会は、広域機関・一般送配電事業者それぞれで実施するのか。今回のアクセス検討プロセスは、電源

接続案件募集プロセスよりもシンプルな仕組みとなるよう検討を行いルール化するものと考えている。発電事業者に対し、一般送配電事業者としてHPでお知らせはするものの説明会を開催することまでは考えていない。

→（事務局）現時点においては、アクセス連系に係る仕組みが大きく変わると考えていることから広域機関・一般送配電事業者へのHP掲載に加えて、説明会を実施する方が良いと考えている。ただ、説明会を開催するまでもないようなシンプルな仕組みとなれば見直す余地はあると思うので、今後考えていきたい。

・本作業会では、アクセス検討における手続き論等について議論するものと認識しているが、資料2の4ページのような、合理的な設備形成を行うための計画業務全体の考え方についてまで踏み込むのか。

→（事務局）アクセス検討プロセスの仕組みさえ決まれば良いというものではなく、系統計画全体に対してどうすべきかについても問題意識を持ちながら検討を進めていく必要がある。

・本作業会で検討する「情報公開」については、アクセス検討プロセスを適用する上でどのような情報が必要なのか、公開していかなければならないかを一番に整理する必要があると考える。

・コネクト&マネージとの整合性を図りつつ必要な情報についても整理していくとなると、資料2のスケジュール感で議論しつくすのは困難ではないか。

→（事務局）コネクト&マネージの検討進捗に合わせてということになるため、そこについては柔軟に対応していくことで考えている。

・デポジットを設定するにあたっては、電源接続案件募集プロセスにおいて課題となっている再接続検討の繰り返しが発生しないよう、金額設定および使い方について検討する必要がある。

以上